

# A.T.I.C vol.8

05.12 NEW RELEASE



A.T.I.C vol.8  
WEBSITE ▶

Product: TENIS  
Collaboration with STONE DESIGNS

はたらく家具をつくる  
**ADAL**  
ADV SER FOR AMENITY LIFE

株式会社 **アタル**

高機能イス・テーブル・ソファなどの製造販売  
その他、インテリア資材販売及び設計・施工

【ショールーム】 福岡・東京・名古屋・大阪  
【支店】 北日本・東京・名古屋・大阪・南九州  
【営業所】 札幌・仙台・広島・北九州・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

オフィス設計のトレンド「ABW」をキーワードに、世界的デザインスタジオ「STONE DESIGNS」とコラボレーションした『A.T.I.C vol.8』コレクションを5月12日（水）、新たにリリース。

## OSHIROX では、独自の加工技術の組み合わせで、 これまでにない世界にひとつのコンクリートの壁をつくります。



### JR熊本駅ビル(アミュプラザくまもと)

熊本市西区 2020年11月

【発注者】九州旅客鉄道株式会社  
【設計・監理】株式会社 日建設計  
【施工】株式会社 大林組

PC板カラーコンクリート  
ハイブリッドピーリング工法2500m  
ウォータージェット意匠



事業内容 ▶ 世界で一つの壁を作ります。：ハイブリッドピーリング工法（ウォータージェット、特殊ビシャン、研ぎ出し）責任施工  
ハイブリッドカラーコーティング工法（特殊塗装）責任施工 含侵シリカコーティング剤及び、特殊塗料、特殊コーティング剤製造販売

株式会社  
**OSHIROX**  
代表取締役 牧野 宰之

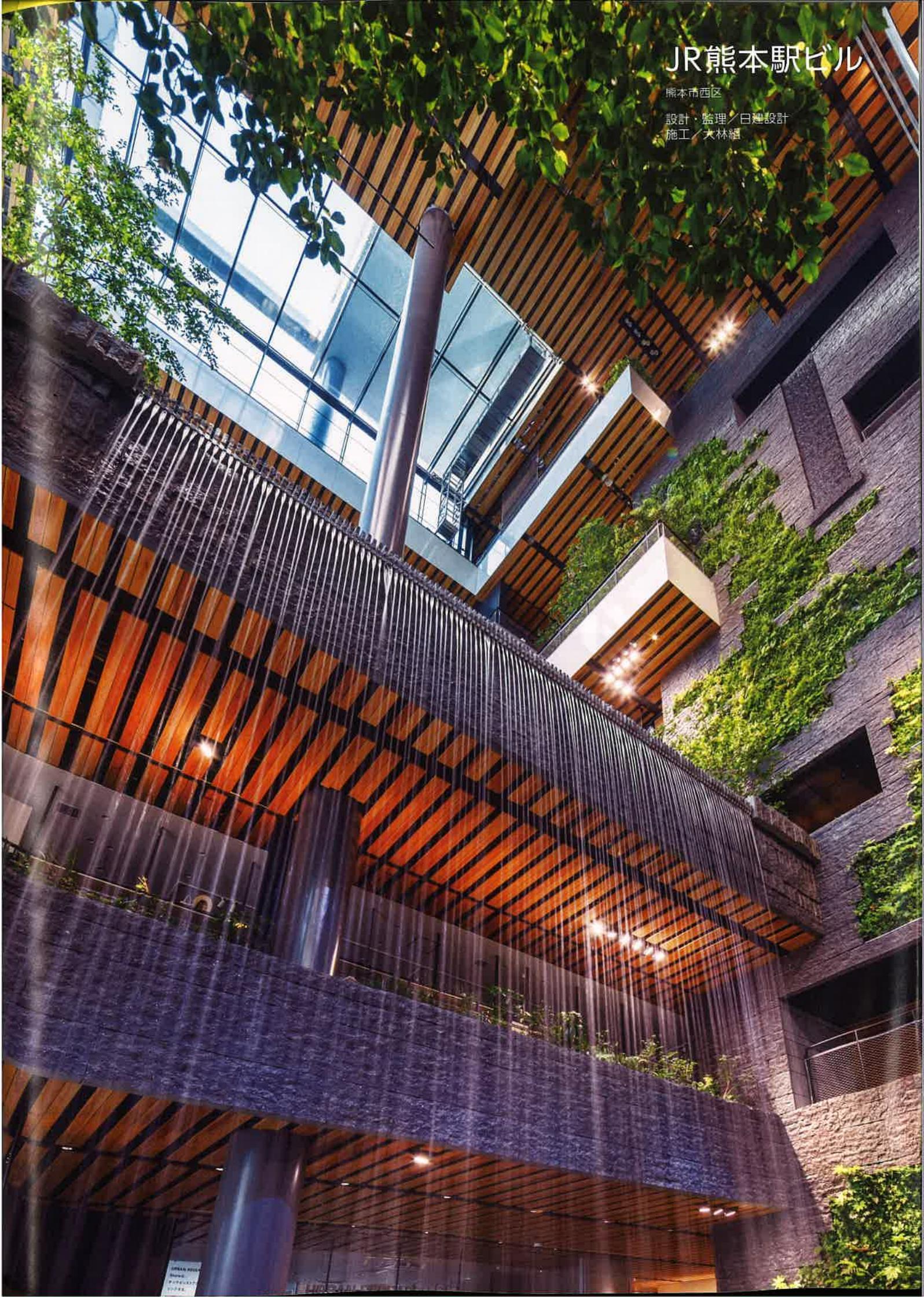
【本社・ショールーム】  
〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 TEL:06-6690-7372 FAX:06-6690-7373  
【工場】  
〒653-0032 兵庫県神戸市長田区荻葉通1-3-17 TEL:078-671-1641 FAX:078-671-1643

<http://www.oshirox.jp>

# JR熊本駅ビル

熊本市西区

設計・監理 / 日建設計  
施工 / 大林組





ホテル部(白い外壁)、商業部(黒い外壁)や屋根群をダイナミックにずらした駅前広場側外観

### 計画概要

九州を代表する鉄道ターミナルの一つであるJR九州熊本駅前に、「JR熊本駅ビル」が竣工し、2021年4月23日、商業施設「アミュプラザくまもと」、ホテル「THE BLOSSOM KUMAMOTO」がオープンした。熊本地震

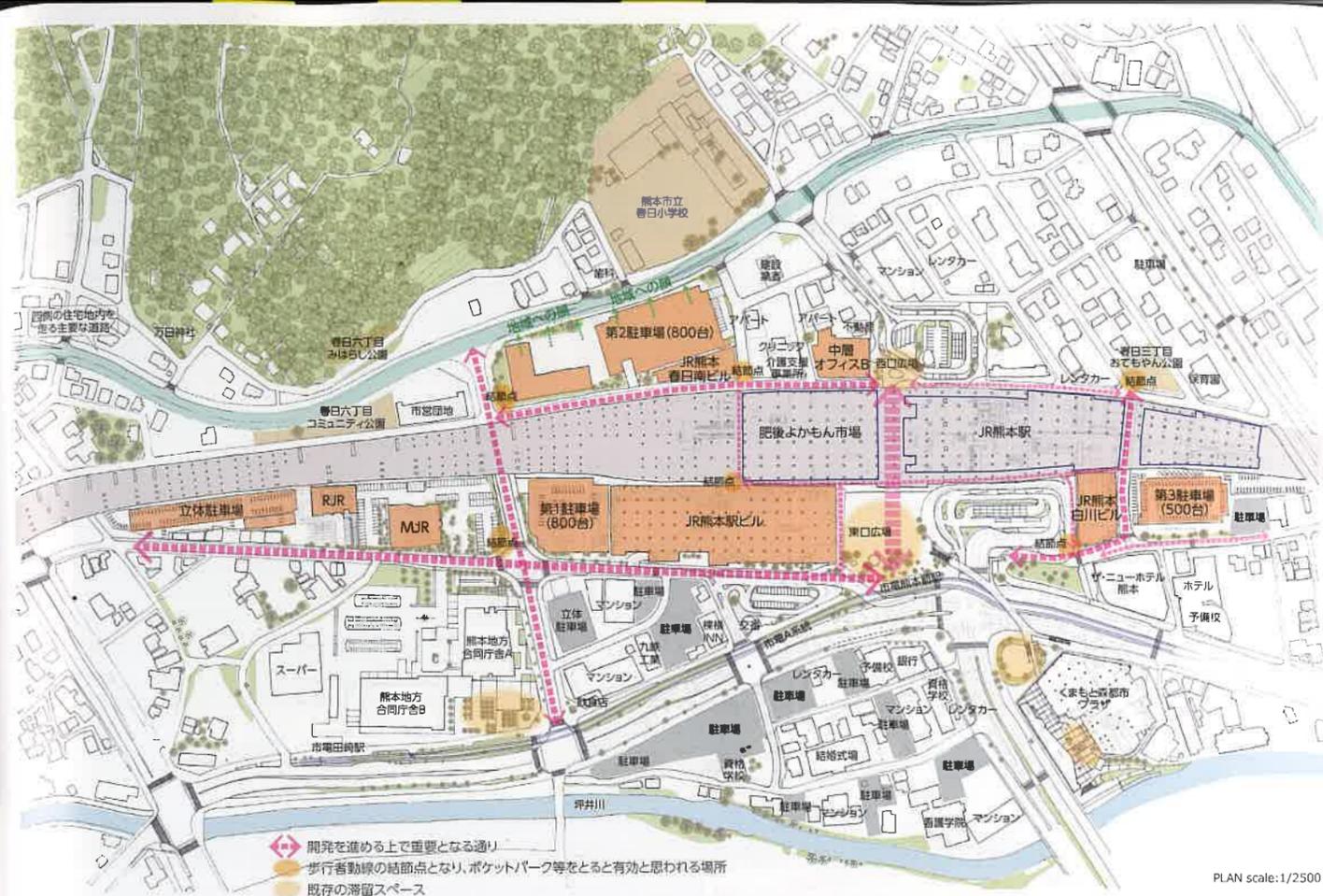
からの復興のシンボルとなるような、熊本らしさを体現するデザインで、新しいまちづくりが進む熊本駅周辺に新たな賑わいを呼び込む。熊本の賑わいの中心から2.5kmほど離れた熊本駅周辺では、九州新幹線整備事業、連続立体交差化事業、土地区画整理事業などを契機に、

新たなまちづくりが着々と進められている。JR熊本駅ビルは、JR九州が目指す「住みたい、働きたい、訪れたい」駅を中心としたまちづくりの中核施設である。1~8階は、小売店舗、飲食、マルチコンプレックス映画館(7階)、結婚式場(8階)からなる「アミュプラザくまもと」、9~12階はホテル「THE BLOSSOM KUMAMOTO」で構成されている。

熊本駅白川口を出ると、熊本市主導のもと「公園のような駅、駅のような公園」をコンセプトに整備された駅前広場の緑がまず目に入る。そして右手に目を移すと、JR熊本駅ビルのカーテンウォールの外装から、立体庭園の水と緑が透かし見えている。

ビルの外観は、用途ごとの大きなボリュームや広場に面した屋根群をダイナミックにずらすことで、熊本城の城郭の折り重なった様子を表現し、熊本駅舎など周辺施設との調和も意識したデザインとしている。広場に大きく突き出した熊本の強い日差しを遮り来訪者を迎える大屋根は、上部が15m×30mの空中広場「おやねテラス」となっている。子どもたちがのびのび過ごせるよう、遊具や暑熱を緩和するミストやテントを張れる工夫が施されており、イベント開催も可能な楽しさに満ちた空間である。また、セイショココ

「水と緑の立体庭園」の断面イメージ



PLAN scale: 1/2500

JR九州が進める「住みたい、働きたい、訪れたい」街のマスタープラン

ん(加藤清正公)を祀る加藤神社の分祀も建立され、地元の方々に所縁ある場所となった。施設の目玉ともいえるのは、地上から7階まで大きく吹き抜けた水と緑の屋内立体庭園「ぼうけんの杜」である。吹き抜けは階段形状により自然光を屋内に導き、シミュレーションを駆使して最適化された生育環境に、日本に自生する数十種類の植物が配置されている。水の流れは9階ホテル中庭の阿蘇の水源をイメージした水盤を起点としている。3階から地上階へ落ちる幅10m、高さ10mの滝は小国町の「鍋ヶ滝」をイメージしており、裏見も可能である。建物全体に流れる水と緑の縦の積層は、阿蘇から有明海に至る「熊本の雄大な自然」を表現するとともに、駅前広場との連続性を生む立体的パブリックスペースにもなっている。空間デザインに自然を取り入れることで、そこで過ごす人の生産性や幸福度の向上を実現させるバイオフィリック・デザインという考え方があるが、この施設に訪れる人がリラックスしてショッピングなどを楽しみ、またこの場で過ごしたいと思っただけの一助となることを期待している。屋内の大規模な立体庭園は、国内外問わず事例が少なかったこともあり、音環境、光環境、ランドスケープ、温湿度環境、デジタル



広場側に大きく突き出した様々な機能を持つ大屋根

シミュレーションなど、日建設計内の多様な専門家を集めたスペシャルチームを編成しプロジェクトに臨んだ。熊本らしいデザインと多様なエンジニアリングで実現した、水と緑の立体庭園。そこで生まれるアクティビティが、駅前広場に滲み出し、新しく生まれ変わった熊本駅周辺に賑わいの風景を創り出すことを願っている。

(羽月喜通、朴玄淳/日建設計)



羽月 喜通……はつき よしみち  
1968年熊本県生まれ。鹿児島大学大学院工学研究科建築学専攻修了後、1993年日建設計入社。現在、同社設計部門ダイレクター



朴 玄淳……ぱく へんすん  
1978年神奈川県生まれ。2003年弘益大学(韓国)工学部建築学科卒業、2006年ミラノ工科大学大学院修士課程修了、2008年日建設計入社。現在、同社シニアプロジェクトアーキテクト



エントランスを入るとまです3階から流れ落ちる象徴的な鍋ヶ滝がマイナスイオンと心地よい水音を迎える。1~7階まで貫かれた石壁と壁面緑化が吹抜空間を縦方向につなぎ、1・3・5・7階にまとまった緑を配置することで、上にとつながる立体的なシークエンスを創出している 右下/阿蘇の湧水群をモチーフとしたホテル中庭の9階水盤

ランドスケープ計画

商業施設の目玉である「水と緑の立体庭園」は、7層吹抜の屋内緑化空間である。立体庭園には、自然光が差し込み、多様な緑にあふれ、響き渡る水音が人々の五感に働きかける心地良い空間が広がっている。昨今、自然の中に身を置くことで人々はリフレッシュされ健康や幸せを得られるといった効果が、世界中で注目されている。本計画は自然を感じられる環境を建築やインテリアに取り入れたバイオフィリック・デザインに積極的に取り組み、まるで森林浴をしながら買物や飲食を楽しむことができるような新しい商空間を創出した。ランドスケープ計画は、阿蘇から有明海につながる地形構造と水の流れが生み出す風景こそが熊本らしいと捉え全体のコンセプトとした。「水」の流れは、阿蘇山麓の湧水群を

モチーフとしたホテル中庭の9階水盤に始まる。その湧水が7階ガラス壁泉や高さ30mの石壁の岩清水として見え隠れしながら、鍋ヶ滝をイメージした高さ10mの滝に流れ込み、建物全体を貫いている。駅前広場にも湧水をモチーフとした噴水や水盤が整備され、内外一体となって「水の国熊本」を象徴するパブリックスペースが広がっている。立体庭園の空間構成は、1~7階まで貫かれた「石壁」が吹抜空間を垂直方向につなぎ、1・3・5・7階にまとまった「緑の滞留空間」を配置する構成とした。上にとつながるシークエンスと立体的な回遊性が生まれ、各階の商業施設やカフェスペースが吹抜空間に顔を出し、建築内に水・緑・人の賑わいがあふれる独特な風景が広がる。日中はガラス壁泉にもなっているトップライトより水にゆらめく幻想的な自然光が差し込む。「石壁」に自然光がよく当たる部分を光シミュレーションにより算出し、熊本の山々に自生する低木・草本類25種で

覆うことで、まるで光が当たる岩肌に緑が生えたかのような自然な石壁を生み出している。「緑の滞留空間」には50種以上の中高木や地被植物を多層に植栽し、阿蘇溶結凝灰岩である鍋田石ベンチを配置することで、緑に包まれた心地よい居場所が設えられている。このように建築内に本物の自然を取り込んだ空間を実現するため、明快なランドスケープコンセプトを立案しつつ、数々の先進的なデジタルシミュレーションや実物モックアップによる検討・検証を繰り返し、最適解となるランドスケープをデザインした。熊本の豊かな自然を感じる「水と緑の立体庭園」が多くの人々に幸せを運び、樹々と共に人々に愛される存在として成長してくれることを願っている。

(小松良朗、岩田友紀/日建設計)



小松 良朗……こまつ よしあき  
1972年兵庫県生まれ。1996年大阪府立大学大学院農学研究科修了、2008年日建設計入社。現在、同社ランドスケープ設計部ディレクター



岩田 友紀……いわた ゆき  
1987年岡山県生まれ。2012年神戸大学工学系研究科修了、同年日建設計入社。現在、同社ランドスケープ設計部所属



熊本には、阿蘇湧水群、鍋ヶ滝、菊池渓谷、江津湖や水前寺公園など特徴的な水辺の風景が点在し、「水の国熊本」と称される所以にもなっている



テラスストリート

アミュプラザくまもと 内部環境計画  
— ニワサキ ウォーキング  
フロントの立体庭園の先に150mにも及ぶ空間が広がる地型のなかで、最奥にはサブ核としてパワーカテゴリーの「賑わいマーケット」を構え、そこに至るセンターゾーンを庭園の吹抜けからシームレスにつながる開放感の高い「テラスストリート」と位置づけ、奥まで気持ちよく散歩していける場を目指した。動線はダブルトラックで強い回遊性を持たせ、



中島売場と一体化した空間のアウトラインを縁側的な床と半外的な折上げ天井を設け、おらかな拡がりを感じる環境としている。各階の構成は1階ではグランドストリートとして城下町、町屋の持つ界限性を展開。中層階はMDに相性の良いカラーや素材を用いて各階表情に変化を与え、上層階の飲食フロアは暖色をベースに吹抜けからの採光やトップライト演出で昼と夜の表情やリラックス感を醸し出すような空間を心掛けた。熊本の新しい交流と賑わいの場として、駅前、庭先の居心地、使い心地の良さを発見していただきたい。(根来宏文/乃村工務社)



根来 宏文……ねごろ ひろふみ  
1957年東京都生まれ。1980年東北工科大学卒業。現在、乃村工務社クリエイティブ本部NODE チーフディレクター



上2点/ロビー「灯の間」 天気の良い日は遠く天草の海まで見渡すことができる 左下/スイートルーム「離れ~THE SUITE」 寝室 鍋田石や橋天井、い草本簾など本物素材を採用。熊本ゆかりの書道家・武田双雲氏の書アートが飾られる 中下/プレミアムダブル「水鏡の間」 ビューバス付きで靴を脱いで寛げる 右下/大浴場「石の間」 坪庭が映り込む大きな浴槽とスチームサウナを楽しめる

熊本駅の頂に鎮座するホテル

駅ビル上層部(9~12階)は、JR九州ホテルズ株式会社の最上位ブランド「THE BLOSSOM KUMAMOTO」によるホテルエリアで構成される。ホテルコンセプトは「熊本御殿」。かつての肥後の繁栄を思わせる圧倒的な存在感で世界中のゲストをもてなす歓待の館として、熊本の自然や文化を再解釈したインテリア・アー

ト・香り・音・書籍・伝統工芸を多数取り入れ、熊本の新たなシンボルとなることを目指した。「御殿」の内部空間には、阿蘇の自然や熊本城の銀杏から着想を得てデザインされた客室、中庭の水盤やチャペル、白川水源を思わせる大浴場、ブランド初の試みとなる離れ形式のスイートルーム「離れ~THE SUITE」など、多彩な「迎賓の間」を用意。天空に降り注ぐ自然の「光」と、ホテルの随所に散りば

めた熊本山鹿の千人灯籠の幻想的な「灯り」が融合し、陰影礼賛の美意識でゲストを迎え入れる。(木野田千晴/三井デザインテック)



木野田 千晴……きのだ ちはる  
1986年福岡県生まれ。2008年広島大学工学部建築学科卒業、2010年東京大学大学院建築学域修了、同年三井デザインテック入社。現在、同社クリエイティブデザインセンター デザイナー

施工計画

JR熊本駅ビルは熊本の陸の玄関口のランドマークとなる建物であり、注目度が非常に高いプロジェクトであった。2016年の熊本地震からの復興に伴う熊本城天守閣と同時期の開業が予定されていたため、何としても竣工日を守るのだという強い覚悟で工事に臨んだ。

— 熊本市の駅周辺整備事業との協働

現場に乗り込んですぐに取り掛かったのは、市の駅周辺整備事業との工事協議会を開催することであった。駅ビルのクリティカル工程となるホテル・水景・滝が配置された北工

区は、一般道に面していないからである。従って、駅ビル工事と並行して行われる街路整備・駅前広場整備と腹を割った話し合いができる環境が不可欠と考えた。協議会では当社が積極的にリードしつつも、お互いがWIN-WINになるように終始進めることができた。

— 全体最適という考え方

商業ビルである以上、テナント工事や別途工事との調整は最重要課題の一つである。別途工事である熱源・井水設備の大型クレーンによる搬入は当工事の立体駐車場建設予定地を使うしかなかった。そこで、まず設備の

搬入時期をFIXし、それをマイルストーンとすることで立駐基礎工事の工区割を決めた。一方では、C工事の大物の資材を開業予定日の7カ月前から先行搬入する方針を打ち出すなど、あえてA工事優先の原則を一部崩しながらも『全体最適』で工事を進めることで、現場全体に譲り合いの精神が植え付けられた。工程厳守のための様々な工夫を挙げれば枚挙に暇がないが、従事者すべてのベクトルを合わせる雰囲気構築することこそが、大型商業施設ではとても大事なことなのだと改めて認識させられた。施工に携わっていただいたすべての関係者の皆さまに感謝申し上げたい。

(土山元治／大林組)



工事状況 (2020年3月)



工事状況 (2020年10月)



駅周辺工事配置図



土山 元治……つちやま もとはる  
1965年熊本生まれ。1987年熊本大学工学部建築学科卒業後、大林組入社。現在、九州支店建築工務部担当部長

JR熊本駅ビル データ

所在地 熊本市西区春日3-15他  
主要用途 ホテル、飲食店舗、物販店舗、結婚式場、映画館、駐車場

建築主 九州旅客鉄道株式会社、JR熊本シティ  
担当/古庄健太郎、池田裕行、井上真美、三藤和輝、亀田絢子、古川智彦、村上裕幸

設計・監理 日建設計  
担当/担当役員：山梨知彦 統括：羽月喜通  
建築：吉生 寛(元所員)、朴 玄淳、反橋浩典、永岩圭介(元所員)、李 春炫(元所員) 構造/長瀬 悟、染谷朝幸、安藤顕祐、宮崎健太郎、廣玉拓也(元所員)、内田 衛、高田好秀 設備/柴 千治、小川祿仙、川合満男、山岸陽子、山田翔吾、中田裕子、石崎勝司(元所員)、内野美雪、小野嘉昭、白土弘貴、高辻暉、井村修二、原田 純、川口佳子 音響：青木亜美、井上瑞紀 ランドスケープ：小松良朗、岩田友紀  
プレゼンテーション：中尾寿利、山崎正登、佐々木大輔、石川 薫 クライアントリレーション：妹尾賢二、鳥井信吾、西海哲哉、寺師一浩 コスト：小路直彦、河邊宣貴、久保 智、若槻佳宏、秋山春雄、小林久志 監理：林 博之、徳田幸弘、隈河耕造、三好信二、石元順一、龍 聖治、猪俣忠久、久保 満、稲光利和

商業エリア環境設計 乃村工藝社、NODE  
担当/福澤幸雄 設計：根来宏文、下舌敦之、飯泉博之、根岸美岐、猪股輝子 設計協力：和田金弘、工藤雅人 プランニング：西達子、安田哲郎、市川愛

ホテル内装 三井デザインテック、パジック、イチロクアーキテクト  
担当/木野田千晴、藤井奈保子、滝澤雄樹、石丸隼子、松田光司

WC内装 設計事務所ゴンドラ  
担当/小林純子、加藤智賢

サイン 日本デザインセンター  
担当/色部義昭、安田泰弘、岡庭璃子、早坂康雄、森田瑞穂

照明 シリウスライティングオフィス  
担当/戸恒浩人、小林高平

施工 大林組  
担当/現場代理人：土山元治 建築：河村高広、中武健二、若佐祐一、蔵元淳二、西園勇作、宮崎義照、平野 徹、大友洋卓、足立 順 設備電気：山村泰三、鶴林孝文、山本祐治、栗村大輔 生産設計：細田達也

設計期間 2017年9月～2018年12月  
工期期間 2019年4月～2021年2月  
開業 2021年4月23日

【建築概要】  
敷地面積 19,945.97㎡ 建築面積 13,869.09㎡  
延床面積 86,292.46㎡  
建ぺい率 69.53% (許容80%)  
容積率 432.63% (許容500%)  
構造規模 S・RC造 地下1階、地上12階

寸法 最高高さ/59.416m 軒高/55.566m 階高/1階5.6m、2～6階4.8m、7階5.4m、8階6.2m、9階4.8m、10～12階3.2m 天井高さ/1階3.2m、2～6階3.0m、7階3.2m、8階3.0m、9階3.0m 主なスパン/9.6m×9.6m

駐車台数 30台+商業棟の他駐車場棟あり800台  
地域地区 都市計画区域等、準防火地域、商業地域

客室数 203室  
スイートルーム (126㎡) × 1室、プレミアムツイン (44～47㎡) × 7室、デラックスツイン (30～32㎡) × 63室、スタンダードツイン (30㎡) × 4室、スーペリアダブル (22～25㎡) × 102室、プレミアムダブル (40㎡) × 1室、デラックスダブル (33㎡) × 12室、スタンダードダブル (20㎡) × 12室、ユニバーサル (36㎡) × 1室

【設備概要】

電気設備 受電方式/22kV3回線スポットネットワーク  
受電 変圧器容量/特高変圧器3,000kVA×3台 予備電源/6.6kVディーゼル発電機1,500kVA

空調設備 空調方式/空調機方式、外調機+FCU方式、直膨コイル方式、PAC方式など各所適用 立体庭園：滝水冷却+結露型放射ルーバー+スポットFCU+除湿器  
熱源 (別途ES事業工事) /直交吸収式+空冷モジュラーHP方式 冷熱1,800RT、温熱5,000kW

衛生設備 給水/水源：井戸水日量500㎡ 供給：ろ過後に全館上水供給、加圧給水方式 (商業系、ホテル系別)、中水なし 給湯/商業：各所局所電気方式、ガス給湯器方式 ホテル：セントラル給湯 (ミニCGS排熱による予熱+マルチ温水器方式) 排水/汚水、雑排水、厨房排水の合流式、厨房除害設備なし

防災設備 消火/湿式スプリンクラー+補助散水栓、吹抜放水型SP、駐車場消火、ガス消火なし 排煙/ルートA建基法排煙、付室第二種排煙、消防活動拠点+第二種排煙排煙に類する加圧換気方式 その他/自動火災報知設備、防排煙運動設備、非常放送設備、非常用照明設備、誘導灯設備

特殊設備 立体庭園 (アクティブ音響、育成照明)

【主な外部仕上げ】  
屋根 アスファルト防水押えコンクリート他  
外壁 押出成形セメント板、ALC、PC板  
建具 アルミサッシ  
外構 コンクリート舗装  
【主な内部仕上げ】  
客室 床/カーペット 壁・天井/ビニルクロス  
ラウンジ 床/軟石 壁・天井/ビニルクロス

撮影/機工エスエス 九州支店

協力会社

電気設備工事	九電工
電気設備工事	JR九州電気システム
電気設備工事	HEXEL Works
空調設備工事	高砂熱学工業
空調設備工事	九電工
空調設備工事	JR九州エンジニアリング
衛生設備工事	九電工
衛生設備工事	三建設備工業
仮設電気工事	山一電工
建築測量	大建測量エンジニア
腐・土工事	尾園建設
腐・土工事	中村工業
腐・土工事	友栄建設
鉄骨階段工事	横森製作所
ハイベスNEO工事	岡谷鋼機九州
鉄筋工事	宮村鉄筋工業
鉄筋材料・生コン納入	JR九州商事
型枠工事	小野工業
型枠工事	堀之内工務店
金属工	新栄製作所
金属工	寿美アート工業
金属工	ペルテクネ
屋根・外壁工事	一原産業
外壁(ハイブリッドビリング工法)	O S H I R O X
アルミ製建具工事	Y K K A P
建具工事	三和シャッター工業
メーヌ工事	高野島
押出成形セメント板	アイカテック建材
タイル工事	博多住材工業
内装(軽鉄・ボード)仕上げ工事	タナカ建設
内装仕上・熱絶縁工事	ジーオーエム
内装仕上工事	博多装工
壁装材・フィルム系・床材	サンゲツ
木造作・家具工事	なかやしき
木造作・家具工事	司建装
FREGANO, WIT-FLOW, HANON, 水次器, 排水性	ユニオン
外構植栽・屋上緑化工事	緑研
外構工事	大林道路

